

事務事業 No./名 称	□サービス部門 総務-04 ■支 援 部 門		市境界整備事業					
主管課	総務課	関連課						
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	市境界の整備を促進する (市境界整備率95%)							
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考			
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
	事業の対象者数							
運営資源 状 況	決算値(千円)	380	397	0				
	(国・県)							
	(負担金等)		198					
	(一般財源)	380	199	0				
	人員配置数	0.5	0.5	0.5				
	人 件 費(千円)	4,519	4,583	4,524				
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	4,899	4,980	4,524				
	市民1人当 りの経費(円)	28	28	26				
	対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
市境界整備率	○	目標値	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	
実績値		83.10	84.04%					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。	
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。		④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。	
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
市境界整備事業	380千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E			
	事業の概要	現地における隣接市との市境界を確定する				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E			
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	横浜市及び藤沢市との市境界については、共同事業により、90%以上が確定しているが、逗子市との市境界は約36%しか確定していないため、逗子市と協調して計画的に共同事業を実施していく必要がある。				
課題解決のための取組	逗子市とは計画的に共同事業の形で市境界確認事業を進める。				
未解決の課題	地権者の了解を得られない未確定箇所については、了解が得られるまで市境界の確定が出来ない。				
今後の方針	横浜市境界、藤沢市境界については、地権者等からの申請事業を待って対応し、逗子市との共同事業は継続する。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 総務課長 内藤 昭二

個別事業の概要

[illegible]